

第44回 防衛問題セミナー概要

日 時 : 令和5年12月16日(土) 15:00~18:00
会 場 : コンパルホール (大分県大分市府内町1丁目5-38)

■ テーマ「国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の概要」

○ 第1部

「我が国を取り巻く安全保障環境」

ジャーナリスト 井上 和彦

○ 第2部

「新しい脅威への対応 ～新たな戦略3文書を踏まえて～」

防衛省大臣官房付兼内閣官房内閣審議官 飯島 秀俊

○ 第3部

「陸上自衛隊 西部方面音楽隊によるコンサート」

12月16日(土)、大分県大分市において、「国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の概要」と題し、九州防衛局主催の『第44回防衛問題セミナー』を大分県の後援により開催しました(来場者約110名)。本セミナーは、令和4年12月に閣議決定された新たな戦略3文書の内容について講演を行い、「防衛力の抜本的強化の必要性」について地域住民の皆様にご理解いただくことを目的として実施したものです。

はじめに、主催者を代表して江原康雄九州防衛局長の挨拶が行われた後、3部構成での講演が行われました。

第44回 防衛問題セミナー
参加無料
定員300名

国家安全保障戦略
NATIONAL SECURITY STRATEGY
国家防衛戦略の概要
NATIONAL DEFENSE STRATEGY
防衛力整備計画
DEFENSE BUILDUP PROGRAM

日 時	場 所
12月16日(土) 15:00~18:00 開場 14:30	コンパルホール 3F 多目的ホール 大分県大分市府内町1丁目5-38

セミナー概要

第1部 我が国を取り巻く安全保障環境
第2部 陸上自衛隊 西部方面音楽隊によるコンサート

第1部 講師 井上 和彦
ジャーナリスト

第2部 陸上自衛隊 西部方面音楽隊によるコンサート
九州・沖縄の各地における自衛隊の防衛力整備、自衛隊のイベント等で活動する西部方面音楽隊。加藤 3 周年を記念した歴史と伝統ある音楽隊によるコンサートを開催!

第3部 新たな脅威への対応
～新たな戦略3文書を踏まえて～
防衛省大臣官房付兼内閣官房内閣審議官 飯島 秀俊

主催：防衛省 九州防衛局
後援：大分県 大分市 大分県防衛力本部
協賛：大分県

お問い合わせ先
九州防衛局 企画課 防衛問題対策室 防衛力整備課
〒860-0802 大分県大分市大分1-1-1
TEL: 092-441-8815
FAX: 092-441-1227





第1部は、「我が国を取り巻く安全保障環境」と題し、メディア出演や書籍の執筆など多方面でご活躍されているジャーナリストの井上和彦氏による講演が行われました。日本周辺の地理とヨーロッパ地域の地理の類似性や、ロシアが対馬を不法占領したポサドニック号事件（文久元年）について触れ、ロシアによるウクライナ侵攻等の脅威が日本にとって他人事ではないことを伝えました。また、自身が国内の離島やカンボジアを訪問した際の体験談とともに自衛隊による島嶼防衛の拡充の重要性やPKO活動についても紹介しました。

第2部では、「新しい脅威への対応～新たな戦略3文書を踏まえて～」と題して、防衛省大臣官房付兼内閣官房内閣審議官 飯島秀俊氏より講演が行われました。令和4年12月に新たに策定された戦略3文書の概要や我が国の防衛の基本方針について、我が国を取り巻く安全保障環境やロシアによるウクライナ侵攻等の世界情勢を踏まえながら説明しました。



第3部では、陸上自衛隊西部方面音楽隊によるコンサートが行われました（指揮：稲積隊長）。演奏は、行進曲「ボギー大佐」から始まり、続いて令和5年のNHK大河ドラマ「どうする家康」メインテーマの演奏が行われました。また、大分県を代表する音楽家の瀧廉太郎が作曲した「荒城の月」を声楽隊員の水上士長が見事に歌い上げました。その後、自衛隊で用いられる信号ラップを用いた「ラップメドレー」で自衛隊員の一日を紹介しました。最後の演奏が披露されたあと、会場からはアンコールの拍手が鳴りやまず、これにこたえて「ラデツキ行進曲」が演奏され大盛況のなか、セミナーは終了しました。

九州防衛局では、今後も防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々に理解してもらうため、九州各地で防衛問題セミナーを開催していく予定ですので是非ともご参加ください。

防衛省HP「国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画」特集ページはこちら

⇒ <https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html>